

## 平成22年度 学校評価

校訓「自律・協力・創生」の精神のもと、人間としての基礎・基本の定着を図るとともに、激しく変化する社会の中でこころ豊かにたくましく生きる力を培う。魅力ある定時制高等学校の在り方研究する。地域に開かれた信頼される学校づくりを推進する。特色ある学校づくりを推進する。(学習指導・特別活動・生徒指導・進路指導の充実)

### ■ 学習意欲を高め、確かな学力を身につけさせる

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
教職員の協働体制の確立と指導の向上	3.0	・少人数授業、習熟度別授業の実施 ・個別補習・年5回の面談・3者面談の実施・進路講演会やインターンシップによる進路意識の向上に取り組む。	習熟度等については特に問題もなく、順調な展開ができた。授業研究に関しては、各授業における工夫によりある程度の到達はあるが、組織的な取り組みとしては不十分であった。拡大学年会議	3	昨年度よりの課題に取り組むべくテーマ設定の形での研究会を実施したい。生徒による授業評価を参考にして、必要があれば委員会を開き改善に向け議論する。 特別支援に関し、必要とする生徒の組織的把握を実施し、広義の「生徒理解」に関する研修会を実施したい。
学力向上への取り組み	3.0	・拡大学年會により生徒情報交換をし生徒一人一人への対応を検討している。	成績会議等の運営が定着しつつあり、連携は確保出来ている。特別支援体制は、カウンセラーとの相談により、指針を得たものの全体化には及ばないケースがいくつかあった。		
ひとりひとりの教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進	3.0	・校内委員会の定例化を企画している。 ・ビデオによる授業研究をはじめ教員研修の活性化。			

### ■ 心の安定を図るとともに、良好な人間関係づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
よりよい人間関係の構築	2.9	・年5回の生徒面談週間の実施および家庭訪問、職場訪問、拡大学年會、定例学年會で個々の生徒への対応を研究している	デートDVの講演会を実施し、知識を深めその防止を啓発した。また、視覚障害者の講演会を実施し、命の大切さを学び障害者や高齢者を積極的に手助けするという意識がよりいっそう高まった。ノー遅刻週間運動を実施、さらに自転車指導を強化したことで、より規範意識を向上させることができた。	3	生きる力、学ぶ力を育成し、人間尊重の精神を養成。障害者への理解と支援、差別を許さない人間としての実践力を身につけるなど人権に関するあらゆる観点から、人権教育に取り組む。 カウンセラー派遣・心療内科医や相談課への教育相談等必要に応じて利用、連携を図る。
相談体制の充実	3.1	・カウンセラーの活用と教員による日常の心のケアに努めている。			
		・安心して学べる学校づくりのために、規範意識を高めるため、はじめある生徒指導を実施している。			
		・アサーショントレーニングのような場面に応じた行動や言動を意識させる生徒指導に努			

### ■ 健康の増進と体力の向上を図る

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
望ましい生活習慣の育成	2.9	・仕事との両立のための生活指導を行っている。	健康診断の受診率(平均93.6%)特に検尿に関して強く指導し、受診率が上がった(96.7%)	3	生徒の生活状況等を把握し個々に対してきめ細かい対応をしていく。2学期に行う給食アンケートの結果を生徒に返し、生活習慣の改善指導に生かす。
健康の増進と体力の向上	2.8	・正しい食生活のために給食を重要視し食育を進めている。給食アンケートを実施すること	インフルエンザの予防法・対処法などを指導し心肺蘇生法の研修会を実施した。食育に関しては		

		徒の食生活を把握することにつとめる。 ・特別活動で体育行事を取り入れ健康の増進を図っている。	給食だよりを毎月発行した。また、学校医及び病院の管理栄養士による食育講演会を2回実施。さらに給食アンケートをとり県の給食研究会で発表した。	
--	--	---	---	--

### ■ 安全・安心な教育環境づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
校内の防災・防犯体制の整備	3.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マニュアル、避難所マニュアルなどを毎年改善している。</li> <li>・安全な学校づくりのために安全点検を行い危険箇所の発見に努めている。</li> <li>・震災追悼の行事を行い防災教育に努める予定である。</li> <li>・年2回の避難訓練を実施している。</li> <li>・不審者への対応を全職員で確認している</li> <li>・情報モラルについての全校集会を実施。</li> <li>・登下校時のパトロールの実施。</li> </ul>	<p>様々な場面を想定しての避難訓練、厳粛な雰囲気の中での1.17追悼行事を実施し、防災意識の啓発と命の大切さを考えさせることができた。毎学期安全点検を行い、校内で補修・修繕できるものは速やかに対処した。</p>	4	<p>震災を経験していない世代へと移り変わっていく中で、経験談等、命の大切さの伝え方をさらに工夫していくとともに、避難訓練等の機会を捉えて、震災の教訓や地域の特性に起因する様々な災害に対応できる力を身につけさせていく。また、教育環境の整備に取り組む。</p>
情報モラルや情報安全等に関する指導の充実	2.9				

### ■ 保護者や地域に信頼され、活力に満ちた学校・園づくりに取り組む

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
特色ある教育活動の推進	3.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有用な研修への積極的な参加を進める。</li> <li>・広報委員会によりHPの更新、中学校訪問の計画、学校パンフレットやポスターの作成を行っている。</li> <li>・夏季休業中の保護者アンケート、オープンハイスクールでのアンケート、生徒による授</li> </ul>	<p>ホームページの頻繁なアップが良い評価に結びついた。学校情報が完璧に伝わったとはいいづら いが、家庭でHPをみれない状況は学校の工夫で解決できない問題である。学級・学校通信も定期的に発行したが家庭に届かな</p>	4	<p>今年度行ったことの継続を前提として、記事の見やすさに改善を加える。さらに学校情報を積極的に発信するためにHP以外の手段の活用に取り組む。中学校との情報交流に取り組む。</p>
開かれた学校づくりの推進	3.5				
教職員の自己研鑽	3.0				

### 教育目標

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
教育目標の達成に向けた教育活動の展開	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な学びの形に対応できる柔軟な教育課程の編成とその実現のために教員の研修を行っている。</li> <li>・自己有用感を育成し社会に有用な人材になることができるよう指導をしている。</li> <li>・各分掌毎の、中間評価実施</li> </ul>	<p>目標を職員会議で提案し、共通理解を図った。昨年と違い1学期末に教員評価の中間アンケートを実施し2学期以降の取り組みの改善を図った。</p>	3	<p>目標を職員会議で検討・議論し、全職員の共通理解を図ると共に学期ごとの評価を目指す。</p>
教育目標の具現化と指導の充実	3.1				
教育目標の分掌毎に評価・見直しの実施。	3.5				

### その他

評価内容	評価Ⅰ	具体的な取組	成果・課題	評価Ⅱ	改善策
適切な進路指導によりキャリア教育	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業生による講話によって勤労意識の向上をめざす。</li> <li>・インターンシップにより、職場体験を実施。</li> </ul>	<p>進路意識を高めることはできた。ガイダンスの回数は妥当かと思われる。1、2年は2回、3、4年は1回。進路便りがコンスタントに発行されて良かった。進路講話(卒業生による)は、本音を語ってくれたので在校生に</p>	2	<p>「進路の手引き」の改訂。3、4年間を通じての進路指導計画を策定する。総合的な学習の時間との連携を検討する。</p>

		とって大変な機会となった。		
--	--	---------------	--	--

